

スピードスケート

▽男子1000m ①久保尚希 北海道・白根 1分43秒
②松本 山形 1分43秒
③岩手 盛岡 1分43秒
④岩手 盛岡 1分43秒
⑤岩手 盛岡 1分43秒
⑥岩手 盛岡 1分43秒
⑦岩手 盛岡 1分43秒
⑧岩手 盛岡 1分43秒
⑨岩手 盛岡 1分43秒
⑩岩手 盛岡 1分43秒

▽女子3000m ①根本明日香 八学光星 4分54秒49
②青森 青森 4分55秒
③山形 山形 4分55秒
④山形 山形 4分55秒
⑤山形 山形 4分55秒
⑥山形 山形 4分55秒
⑦山形 山形 4分55秒
⑧山形 山形 4分55秒
⑨山形 山形 4分55秒
⑩山形 山形 4分55秒

根本(光星) 24位

男子1000m 清川(八戸) 25位

3000m 女子



【女子3000m】4分54秒49で自己ベストを更新した根本明日香(八学光星) 青森県勢はアイスホッケーの八戸商が早実(東京)に快勝して2010年以来、8年ぶりの8強入り。昨年まで3年連続3位の工大一は清水(北海道)に敗れ、初戦で姿を消した。スピードは女子3000mの根本明日香(八学光星)が24位。男子1000mは清川一樹(八戸西)の25位、女子同は宮下和奏(八学光星)の47位が最高だった。フィギュアは男女予選のショートプログラムがあり、男子の小形冨々也(三沢商)は23位で決勝に進んだ。女子の大澤寧子(三沢)はB組9位、ギルフォイル・セレン(同)が同40位。第4日の25日も各競技を実施する。(中山瑞希、佐藤雄)

第67回 スケートインターハイ 山梨・北海道 第3日

根本自己新 うれし涙

〇…女子3000mで今季初めて5分を切り、自己ベストを更新した根本は「今までで一番良い滑りができた」とうれし涙をこぼした。

自分でトレーナーを見つけ、腰痛対策や食事管理に励んだ結果、「余計な脂肪が落ちて筋力が付いた」と実感。目標の4分50秒には届かなかったが、「力まず落ちついて滑れた」と笑顔を見せた。次は1500mに挑む。「2分20秒を切って24位以内に入りたい」と目標を語った。